

ペーパークラフト模型による側頭骨解剖の理解

外耳道、中鼓室、上鼓室、乳突洞の位置関係および互いの交通路は、平面的な図で理解することは困難である。側頭骨標本やモデルの削開実習は有用であるが、これらの実習は通常医師および医学部学生のみが対象となる。今回われわれは、側頭骨解剖理解に対するペーパークラフト模型作成の効果を検討した。言語聴覚士専門学校に通う学生 3 クラス 110 名に対して (1) 講義のみ、(2) 講義+ペーパークラフト模型作成、(3) 講義+ペーパークラフト模型作成+模型解説を行った後、側頭骨解剖に関する簡単な試験を行った。その結果、(1) は 8 点満点で平均 4.4 点、(2) は平均 4.3 点、(3) は平均 6.3 点であった。また、研修医 10 名に対して解剖の理解度を 1~7 点のスケールで自己評価してもらったところ、模型作成前は平均 2.6 点であったのが、作成後は 4.9 点と改善した。なお、今回用いたペーパークラフトは下記でダウンロード可能である。

https://drive.google.com/folderview?id=0B_rthegasNQNN25ZbHlrT3plSDA&usp=sharing